

(令和2年09月07日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >

(分散投資と集中投資・その3 (集中投資-1))

今回は、集中投資について。分散投資と集中投資・その集中投資は、投資対象を絞ること
でリスクをとり収益率が平均値を上回ることを目標とする投資手法と述べました。

それでは、一年間でどの程度個別銘柄の変動率が散らばりをみせるのか、前回その2(分散)
と同様2019年1年間を例にまとめてみました。(あくまでサンプル、日経平均の変動率は
あまり大きい年ではありませんでした)。

下表の①ファットテール、②値上り率上位、③値下り率上位銘柄のリストをご覧ください。

①.(2019年の変動率の分布から大きく上方に乖離率した6銘柄の株価は、概して2倍
以上、②.①を除いた上昇率上位10銘柄は50%~70%の上昇率、③.下落率上位10銘柄は
▲25~40%の下落率となっていること。変動率の幅の広さは想定外と感じられた方が多い
と思います。狙い通りうまく行けば「大儲け」ですが、逆に出れば「大損。分散投資、集中
投資、どこまでリスクを取るのか。最初に意識しているかどうかポイントです。

< 個別銘柄の株価変動率(2019年) >

…20018年末株価と2019年年末株価を比較…

ファットテール6銘柄を除いた統計量。

平均値は9.0028%。

標準偏差は21.1196

最大値68.25%、最小値▼39.06%。

中央値は、9.07%、平均の上昇率と
ほぼ同じになっています。

日経平均はこの間に18.2%上昇しています
が、ここでは、各銘柄の上昇率を単純に平均
しています。

日経平均でみて、年末比で2001年以降の
19年間で上昇したのは、12回であったことに
留意です。

2019年は日経平均採用225銘柄中

- ・分布から大きく離れて上昇
したのは、6銘柄
- ・上昇率がプラスの銘柄は、
151銘柄。下落は74銘柄
でした。

(ファットテール) (%)

6857	アドバンテス	174.5
2413	エムスリー	124.2
4568	第一三共	105.9
6976	太陽誘電	105.1
7733	オリンパス	100.2
8035	東エレクトロ	91.2

(下落率上位) (%)

4506	大日本住友製	-39.1
9064	ヤマトHD	-38.3
5707	東邦亜鉛	-38.2
9501	東京電力HD	-28.5
4902	コニカミノル	-28.2
7201	日産自動車	-27.7
5901	東洋製罐GH	-25.1
8628	松井証券	-25.0
2531	宝HD	-24.9
8028	ファミマ	-24.5

(上昇率上位) (%)

4689	Z-HD	68.3
6952	カシオ計算機	68.0
7735	SCREEN	62.7
6645	オムロン	60.5
6762	TDK	60.5
4519	中外製薬	58.0
6501	日立製作所	57.6
6506	安川電機	54.6
6098	リクルートH	54.0
6702	富士通	50.0

注：GC Hello Trend Master を用いて作成。